

た甲斐があつて、今では、一昨年より法人化され、他県から視察研修に來られるモデル地区になつています。

二期目、女性農業委員三人が地域貢献できる活動として何が出来るか話をした結果として学校給食の味噌作りを始めました。味噌作りは町の施設を利用して頂いています。又、地産地消での加工食品を作りながら地域の人達との交流が深まるように心がけ、新鮮で安心できる食品を作っています。又、女性農業委員三人は、町では三組の家族経営協定を結んでおります。今年は見直しの時期です。

三期目、学校の依頼で各小学校の課外学習授業に参加しました。朝食の大切さ、献立作り、味噌の材料、作り方、野菜を使つたおやつ作り、学年によって内容は異なり、主に父兄参観日に行つています。

四期目、最近、沿岸部に猪等が出て農地の荒廃が進む中、どうすれば良いのか、皆様の御意見を聞いて相談をしながらやっていきたいと思ひますので、皆様のご協力、ご指導を宜しくお願い致します。

農業委員の使命

飯野 隆



近年、農業者の高齢化、後継者不足により遊休農地が増加する現状において遊休農地の解消、発

生防止、農地の有効活用対策に取り組むよう努力すべきと考えます。

そのためには行政、JA、認定農業者等の組織との連携を密にして、地域の担い手づくり対策に取り組んで行かなくてはなりません。我々も任意の営農組合を組織して取り組んでおりますが、何分にも広範囲な七集落が協定を締結して、約百戸の農家が急傾斜地、緩傾斜地の七十町歩の農地を管理しております。これも平成十二年から始まった中山間地等直接支払交付金制度があつてこそ、地域が一体となつて農地を守つてゐる状況にあると考えています。今のところ、この制度は平成二十一年までということ、あと一年余りしか約束されておりません。農業委員会としても、この制度が継続されるよう行政に建議して行かなければならないと考えています。

又、めまぐるしい燃料、肥料等諸物価の高騰により平成二十一年には、さらに農業経営にとって大きな打撃となつてくると思ひます。これらに対する対策も考えなくてはならないと思ひます。

農業委員は集落担当制があります。責任を持つて農地を巡回して、荒廃農地を作らないよう頑張つて行きたいと思つております。

農地転用は

農業委員会の

許可が必要

農業委員になつて

山本 昭



今迄、土・日曜日の休日を利用してサラーマン農家でしたが、

一昨年、会社の退職を機にスローライフとして、先祖から引き継いだ田・畑作をやり始めた途端、地域の農事組合の役員を一年間任されました。が、種々問題があり農業について真剣に考えさせられる事となりました。特に、稲作について当地域は一戸当りの耕作面積が少なく、ほとんどが自給程度の規模の農家で、ここ数年間で耕作離農が進み、半分の戸数となつており、遊休農地(休耕田を含む)が年々拡大している現状です。

その要因の一つが、機械化・高齢化が進み、後継者への継承がスムーズになされていない事で、その対策に自問自答していた矢先に、今年農業委員に選任されました。

農業委員の役割・使命は

「農地法に基づき申請された案件等について、適正に処理する」

「農地を守り、育てる」

ことと考えています。

先祖代々、守り続けて来た農地を共に守り、農業の再生を図る。これが課せられた使命だと思ひます。

その為には、この期に農地法等を勉強し、各農家との悩みを共有・相談して、少しでも役立

ちたいと思ひます。

荒廃農地解消に

向けて

濱崎 智熙



農業委員四期目となり更に農業に対する重責を感じます。

農地の確保、遊休農地、耕作放棄地解消に向けて農業委員会は状況把握して、農地パトロール後、耕作放棄地の所有者への戸別訪問や文書での解消指導を徹底するようになります。地権者の皆様も自分の農地が今現在どのような状態になつてゐるか、自分の財産である農地を一度見に出てみるのも良いではないでしょうか。

やがて食糧危機が来ると盛んに言われています。緑豊かな水田となる事、自給率を上げていく事、又、命の源である安心、安全な作物を作り、元氣の出る豊かな農業に取り組み、情報発信、情報の交換が出来る為にも研修して、自分自身農業委員として皆様の相談に乗れるよう頑張つていきたいと思ひます。



農業委員として

山本 淳



私は、次のことを目標に努めてまいりたいと考えております。

第一に、地域における土地利用のあり方を踏まえた、優良農地の確保と有効利用を図るため、担当地域の農地パトロールを行います。(無断転用の防止と遊休農地の解消)

第二に、中山間地域、特に山間地域の農地の確保・有効利用と担い手の確保・育成について行政と、また地域の皆さんと話し合つていきたいと思ひます。

(集落営農、または地域の住民で構成する既存の生産法人の活用を含めた方策)

第三に、地域の中で農業者の声をお聞きし、それらを積み上げて地域農業の発展に結びつけていけたらと思ひます。

以上、地域農業者の皆さんの相談相手となつて二期目を務めてまいりたいと考えておりますので、皆さんご支援、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

遊休農地考

大西 純雄



作年の農業委員会活動の一環で調査を行った、私の受け持ち区域